

齊藤慎一教授を悼む

筑波大学体育センター長補佐であった齊藤慎一教授が、平成16年4月24日多臓器不全のため57歳で逝去されました。

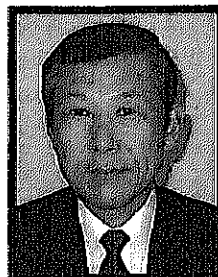
教育面では、体育センターにおいて、主にフィットネストレーニングを担当され、健康・体力側面からスポーツの意義を啓蒙してこられました。また、学群や大学院教育において、運動栄養学を担当され、多くの学生の研究や論文の指導にあたられました。先生は、厳しさの中にも愛情溢れる眼差しで多くの学生と接せられ、日常生活での食事から専門種目のトレーニング法まで、多岐にわたって指導されました。

研究面では、日本で最初に二重標識水法によるエネルギー消費量の研究を始められ、これまで困難であった日常生活における身体活動量を正確に評価することを可能にしました。2002年に出版された『食べて勝つスポーツ栄養の基礎知識』は、多くの研究者、スポーツ実践者に愛読されています。

さらに、齊藤先生は、体育センター長補佐として、体育センターだけでなく筑波大学体育のあるべき姿の実現に向けて、全力で活動されました。計画段階から深くかかわられたSPEC(体育総合実験棟)は、現在、日本有数のスポーツ医学・スポーツバイオメカニクス等の研究基地となっています。

日頃から、先生ご自身もスポーツをこよなく愛されました。夕方になると、大学の周りをよくジョギングされました。また、週末になると、友人や家族と共にテニスを楽しまれ、教職員大会等で大いに活躍されました。奥様と組まれたミックスダブルスは、男性ペアも勝てないほどの強さでした。

何事にも誠心誠意、アグレッシブに取り組んだ齊藤先生に対し、謹んで哀悼の意を表し、ここにご冥福をお祈り申し上げます。



氏名：齊藤慎一

生年月日：1947年4月20日

出身地：石川県金沢市

担当：体育専門学群，体育研究科，体育科学研究科，体育センター

専門分野：運動・栄養生化学

研究テーマ：体組織グリコーゲン再補充のための栄養処方の開発，

レジスタンス運動と健康づくり，エネルギー消費量測定法の開発

学歴：1970年3月 東京教育大学 体育学部体育学科

1974年3月 東京教育大学大学院 体育研究科体力基礎論専攻

取得学位：1974年3月 体育学修士 東京教育大学

1993年11月 博士(学術) 筑波大学

学位論文名：Nutritional design for enhancement of glycogen store in liver and muscle before, during and after exercise in rats.

所属学会：日本体育学会，日本体力医学会，日本栄養・食糧学会，日本バイオメカニクス学会，日本運動生理学会，日本肥満学会

主要経歴：1974年4月 東京教育大学体育学部スポーツ研究施設 教務員

1975年4月 筑波大学体育科学系 教務員

1978年5月 同 講師

1991年11月 同 助教授

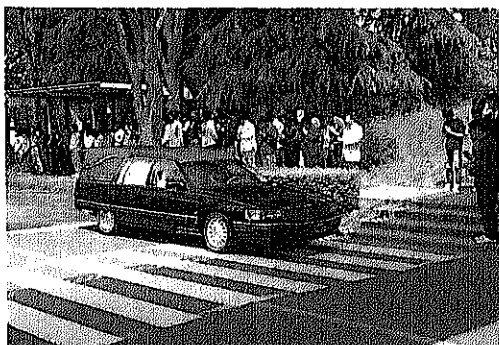
2001年4月 同 教授 (体育センター長補佐)

受賞歴：1990年5月 筑波大学河本体育研究奨励賞 筑波大学

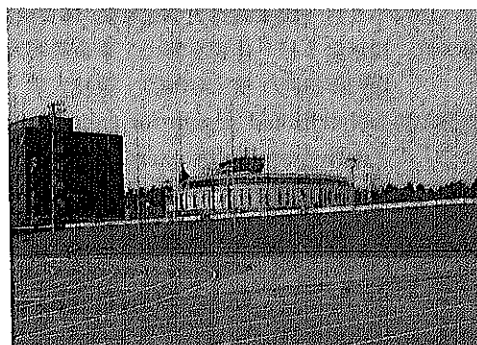
主要研究業績：次ページに記載

故齊藤慎一教授主要研究業績一覧

1. Activation of branched -chain α -keto acid dehydrogenase complex by exercise: effect of high-fat diet intake. *Journal of Applied Physiology*, 68(1) : 161-165, 1990.
2. Nutritional status and daily activity of handicapped students in Tokyo metropolitan schools for deaf, blind, mentally retarded, and physically handicapped individuals. *American Journal of Clinical Nutrition*, 54(6) : 1101-1111, 1991.
3. Effect of short-term exercise training on muscle glycogen in resting conditions in rats fed a high fat diet. *European Journal of Applied Physiology*, 64(1) : 62-67, 1992.
4. Effects of exercise and nutrition on branched-chain amino acid metabolism. *Integration of Medical and Sport Sciences. Med. Sport Sci., Karger, Basel*, 37 : 342-348, 1992.
5. Effect of a high-carbohydrate diet intake on muscle glycogen repletion after exercise in rats previously fed a high-fat diet. *European Journal of Applied Physiology*, 66(2) : 127-133, 1993.
6. Measurement of total energy expenditure by the doubly labeled water method in professional soccer players. *Journal of Sports Sciences*, 20(5) : 391-397, 2002.
7. Validation of three alternative methods to measure total energy expenditure against the doubly labeled water method for older Japanese men. *Journal of Nutritional Sciences Vitaminology*, 48(6) : 517-523, 2002.
8. 二重標識水法によるエネルギー消費量測定の実理とその応用：生活習慣病対策からトップスポーツ選手の栄養処方まで. *栄養学雑誌*, 57 : 317-332, 1999.
9. 健康な日本人男性の尿中3-メチルヒスチジン排泄量と除脂肪組織量との関係. *肥満研究*, 7(1) : 40-44, 2001.
10. 食べて勝つスポーツ栄養の基礎知識. 講談社. 2002.
11. 二重標識水法を用いた簡易エネルギー消費量推定法の評価 -生活時間調査法, 心拍法, 加速度計法について-. *体力科学*, 51 : 151-164, 2002.
12. 通常勤務体制下の消防官の二重標識水法による総エネルギー消費量測定. *体力科学*, 52 : 265-274, 2003.
13. 中年女性における簡易エネルギー消費量推定法の検討 -二重標識水法との比較-. *肥満研究*, 10(2) : 163-172, 2004.



学内での教職員・学生とのお別れ



体育総合実験棟